農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

美郷町長 田中秀俊

市町村名 (市町村コード)	美郷町 (45431)
地域名 (地域内農業集落名)	上野原地区 (神門原、越、小伏木)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年8月27日 (第3回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地域は、農業経営主の平均年齢が70.7歳であり、遊休農地の増加が懸念される。持続的に農地を利用し地域の活性化を図るために、後継者の確保・育成、担い手農家への農地集積が課題である。

【地域の基礎的データ】

農業者:86人(うち50歳代以下10人)、主な作物:稲作、ミニトマト、金柑、梨、しきみ、肉用牛繁殖

(2) 地域における農業の将来の在り方

ミニトマト、金柑、梨、しきみ、肉用牛繁殖においては、後継者を確保し、維持・発展をすすめる。水稻においては、高齢化に伴い耕作放棄地が増えることが懸念されるため、担い手を確保し、担い手へ農地を集積する体制構築を図る。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	54.7 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	54.7 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	0.0 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地のうち、山間部に散在する農地等を除いた農地。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地中間管理機構や農業委員会と連携して、認定農業者や後継者、新規就農者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
遊休農地を農業委員会との連携を図りながら、農地中間管理機構の活用を推進する。
(3)基盤整備事業への取組方針
なし、基盤整備はほぼ終了している。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
集落営農組合の活動の活性化を図る。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
地域内での農作業の効率化を図るために、特に水稻栽培においては、集落営農を活用し、オペレーターへの作業委託、仲介や共同防除を実施する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☐	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☒	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☐	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携等	☐	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

ミニトマト、金柑、梨の維持・発展を図る。